

令和二年度 向陽台高等学校 学校経営計画

1 めざす学校像

校長

建学の精神 ①良識ある立派な市民の育成 ②時代の変化に対処できる優秀な人材の育成
教育目標 社会で生きる力を育む。市民として社会に貢献できる確かな人物の育成、豊かな知性の育成、自己の未来デザインの形成と進路実現をめざした教育を実践する。
教育方針 時代と共に歩み、時代の要請と社会の変化に対応する斬新で独自性に富んだ、時代を創っていく教育をめざす。
目指す人物像 「自他の個性を認め合い、自ら一步前に進める人物」
5つの学校像 (1)学び直しにより自信と自尊感情を育て、個性を活かした心を育てる学校 (2)能力開花・才能開花に積極的にチャレンジしグローバル人材を育成できる学校 (3)不登校生徒等全国の学びの場のない生徒への支援を積極的に展開する学校 (4)地域一体地域循環還元型教育を進め、地域創生に貢献する活動を積極的に行う学校 (5)通信制・単位制高校として共生社会の実現に貢献する教育を行う学校

重点目標

- 1 生徒一人ひとりに応じた才能開花・学力向上と進路実現への支援
- 2 本人や保護者の思いに寄り添い自己実現を図る丁寧な指導・支援
- 3 広域通信制・単位制のソサエティ 5.0時代の教育を目指し EdTech を活かした全国展開を図る質の高い教育の提供と実践の発信

目指す学校像

- 変化を怖れず次の時代に挑戦する学校
- 安全で安心できる地域に開かれた信頼される学校
- 中・高・大・大学院につながる新たな通信制高等学校

計画推進理念 「時代は人が造り、人は学ぶことによって創られる。自らの改革なくして成長はない」

2 中期的目標 令和2年度～4年度

I 外的環境の変化による危機意識の共有と課題対応を図る学校の特色づくり

「向陽台ロマン」の実現と学園の一本化

(1) 変化を怖れず次の時代に挑戦する学校

- ①新たな向陽台高等学校づくり
- ②学園の新中長期計画（5年計画）に基づく学園での一本化を目指した学校づくり
- ③EdTechを活用した各コースの見直しと学園資源の活用
- ④オンライン授業を含む EdTech を徹底的に活用した教育に挑戦するとともに、支える教育の良さを融合させた向陽台教育実践の発信
- ⑤技能連携校との教育圏域の拡大・EdTech の活用による連携の充実
- ⑥支える教育と才能開花を支援する教育に向けたコースの再編と「向陽台コンソーシアム」による関係機関との連携事業の推進
- ⑦他の通信制高等学校との違いを明確に発信する
- ⑧学校基礎データの共有と学園・学校マネジメントの意識化

(2) 安全で安心できる信頼される学校

- ①外的環境の変化による生徒の減少に対応した学校体制の整理と、技能連携校との充実した連携の検討
- ②進学実績、就職実績や資格取得の状況等、出口の見える化推進
- ③本校の教育力の充実による新たな生徒層の獲得・拡大と発信
- ④学びを止めない教育の推進
- ⑤学校基礎データの保護・運用管理責任の明確化

II 学園及び本校の未来を託す人材の育成と学園・学校の良さの継承と教育のさらなる充実・発展

(1) マネジメント力の継続的な育成と EdTech の活用力の向上

- ①学校での育成観点の整理
- ②信頼をベースにした人材育成と女性の登用
- ③オンライン発想に対応できる人材と登録・相談機能の充実

(2) 指導力・授業力など教育資質を高めるチャレンジの支援と実績

- ①チャレンジ力とプラス思考の積極的評価・支援
- ②若手・ミドルリーダーの積極的登用による人材育成・マネジメント力の育成
- ③受験指導に対応できる教科指導力とカウンセリングマインドの向上

III 一体感のある機動的でフレキシブルな組織づくりと学園一本化に向けた対応

(1) 校務分掌組織の見直しと計画的移行による学校改革の推進

- ①EdTech を活用した分掌の整理と世代のスムーズな移行
- ②戦略会議やプロジェクトチームへの若手教員の参加とアイデア実現
- ③オンラインを活用した業務の見直し検討

(2) ミドルリーダーの権限と責任意識をもとにしたプロジェクトチームによる学校課題の解決

- ①プロジェクトチームを活用した学校課題の解決に向けた学校改革の推進
- ②教員層の役割分担と機能的・一体的・迅速的な組織の活性化方策
- ③本校と技能連携校との EdTech の活用と関係の強化及び教育圏域の拡充

IV EdTech を活用し全国展開する学校づくりと学園の一本化による「向陽台ロマン」の実現を図る

(1) 危機意識の共有と学校の特色づくり

- ①全国展開を図る新たな特色ある向陽台高等学校づくり
- ②中期経営期計画（5年計画）に基づく学園での一本化を目指した学校づくり
- ③新たに主体的に学ぶ生徒層を対象とし、EdTech を最大限に活用したオンデマンド授業・eラーニング等による「学習者主体」の教育の全国展開
- ④中学、高校、大学、大学院へつながる「22世紀の教育への挑戦」を視野にした通信制教育の検討
- ⑤オンライン授業を含む EdTech を徹底的に活用した教育による「生徒に寄り添う支援の教育」の良さを融合させたオンラインと実体験を組み合わせた教育
- ⑥学習者主体の教育と支える教育と才能開花を支援する教育に向けた「21世紀の教育」を視野に置いたコースの再編・モデルカリキュラムの作成と発信
- ⑦「向陽台コンソーシアム」による関係機関との連携したキャリア教育の推進

(2) 学園の一本化を目指した取り組みの推進

- ①G Suite を活用したオンラインでの取り組み実践とまとめ等の学園 LMS を活用した向陽台と摂陵の実践と特徴の共有。
- ②進路指導における指導の工夫・特徴の共有。進学指導での活用と LMS の検討。
- ③「生徒に寄り添う教育」「学びを止めない教育」「学習者主体の教育」の特徴を活かした教育実践の展開
- ④学園ホームページの設置・活用に向けた向陽台ホームページの充実
- ⑤本校と技能連携校との EdTech の活用と関係の強化及び教育圏域の拡充

V 多様なニーズに応じた教育の EdTech を徹底活用した「学びを止めない教育」に基づく展開を図り、学園教育クラウドプラットフォーム等も活用した「主体的学習を支える教育」を充実させ「未来の教室」を目指し「学校力量」を高める

(1) ICT活用による学び直しとチャレンジ精神を高める授業実践力の向上

- ①G Suite による5期制の特色を活かしたオンライン授業での個別最適化の指導法と補習等の個に応じた指導での学習ログの活用
- ②双方向の学習アプリ等を活用した授業や教育相談の実施による本校の教育の特色の明確化
- ③学校クラウドの検討を通じた早稲田摂陵高校と連携した manaba 等を視野においた教育クラウドプラットフォームを活用した主体的学習

(2) キャリア形成・就労支援の指導力向上

- ①大学進学と就職に向けた進路指導の特徴
 - ・各コースの特徴の明確化とコースに応じた次の時代を見据えた指導内容の検討
 - ・難関大学進学を目指したコースの設置と進路サポートコース・早稲田摂陵高校と連携した指導の充実・Web教材の作成
- ②丁寧な教育相談と双方向アプリを活用した相談体制の充実
- ③キャリア教育プロジェクトによる多様な生徒のニーズに応じたモデルカリキュラムの作成と具体化

- (3) コミュニケーション力の向上とカウンセリングマインドの育成
 ①社会的スキルの指導講座や学校設定教科等を活用した特色ある講座の開設
 ②オンライン等による指導教材・方法の作成検討

VI 「向陽台コンソーシアム」の発想に基づき関係機関等と連携したキャリア教育を充実させ、特色ある教育の充実と発信

(1) HPの充実と SNS 等を活用した本校の特色ある授業や行事等の Web 発信力を高め、社会的意義・役割の周知と協力関係の構築

- ①主体的に学ぶ生徒層のモデルカリキュラムの発信と進学実績の向上
 ②地域一体地域循環還元型教育の松阪市と連携した事業推進
 ③ソサエティ 5.0 の新たな社会を視野にインクルーシブ教育を視野に共生教育推進モデル教育の実施
 ④マスコミ・府内公立学校・保護者・地域等の通信制高校のイメージ改革推進

(2) 「向陽台総合学院」(松阪市) を高等専修学校での ICT 活用の全国のモデル校とし技能連携校等組織的関係の充実を図る

- ①EdTech 活用による学び直しと自尊感情を育てる教育の展開
 ②「地域一体地域循環還元型教育」の実践とキャリア形成・就労支援の充実
 ③地域と時代に応じた教育実践の充実

(3) 本校の学校力量を高める教育連携の推進

- ①不登校生徒を対象とした中学段階からの指導の市町村連携モデルの検討と中学・高校・大学・大学院へとつながる通信制を活用した教育の共同研究
 ②次の時代のニーズを満たす「e-スポーツ」や「ドローン」、「ロボット」等での事業所と連携した学外学修の推進と特色ある講座設置
 ③ガンバアカデミーや才能開花を図る関係機関と連携した人間教育の充実
 ④心理面で課題のある生徒への難関大学進学と基礎学力保障を図る民間との連携による「向陽台指導」の確立と摂津指導法の融合
 ⑤22 世紀型教育での EdTech を活用した通信制高校の可能性を探る大学等研究機関との連携事業の実施

3 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

4 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
外的環境の変化による危機意識の共有と課題対応を図る 学校の特色づくり	(1) 変化を怖れず次の時代に挑戦する学校 ア 新たな向陽台高等学校づくり イ 各コースの見直しと技能連携校との連携のあり方検討 ウ 学校基礎データの共有 (2) 安全で安心できる信頼される学校 エ オンラインを活用した実践 オ 進学指導における学習アプリの活用と工夫 カ 学園ホームページの開設に向けた取り組み	(1) ア EdTech を活用した各分掌・各教科での業務整理や授業・教育相談を実施し工夫や配慮について検討、共有し、向陽台の特徴を提示する。 イ 教育開発室コース見直しプロジェクトを中心に昨年に引き続き検討し具体案を提示する。技能連携校との連携に EdTech の活用を図る。 ウ 各分掌等学校統計等基礎数や書式等をまとめ年次更新できる「向陽台基礎資料集」を作成する (2) エ G Suite 等を活用し各教科でオンライン授業を実施し工夫点等について検討、共有するとともに向陽台の指導の特徴を検討 オ G Suite の活用を基に学習アプリを活用した授業の課題と「LMS」の検討 カ 向陽台ホームページの記載内容の充実と見やすくわかりやすいものにする検討。	(1) ア 学校評価「教育方針・理念の理解」達成度 50%以上と新卒コースの充実 イ 年度末までにコース再編原案作成・提示 学校評価「ニーズに応じた教育活動」「特色ある教育活動」達成度 80%以上 ウ 「向陽台基礎資料集」の配布 (2) エ 学校評価「指導方法や学習形態の工夫・改善」達成度 80%以上 オ 学校評価「情報共有、研修等の役割」達成度 70% カ プロジェクトチーム等の提言等をも反映した進路別モデルカリキュラムの作成	
学園及び本校の未来を託す人材の育成と学園・学校の良さを継承と教育のさらなる充実・発展	(1) マネジメント力の育成と EdTech 活用力の向上 ア 育成の観点での校内人材の確保 イ EdTech の活用できる人材の育成・確保 (2) 指導力・授業力など教育資質を高めるチャレンジの支援と実績 ウ プラス思考の積極的評価と支援 エ 次年度に向け若手・ミドルリーダーの積極的登用体制の構築	(1) ア 各分掌組織における引継ぎを視野においた人材育成を図る。資料等の引継ぎの見える化 イ 授業や教育相談での活用事例での工夫等の意見交換とプロジェクトチームによる研修等の実施 (2) ウ EdTech の発想を活かした改革と教育実践でのチャレンジの奨励と支援 エ OnTheJob による人材育成と管理職によるマネジメント力の積極的評価	(1) ア 次年度の校務分掌に反映する イ 学校評価「計画的研修」での達成度 40%以上 学校評価「伝える機会」での達成度 40%以上 (2) ウ 成果の共有と次年度の計画に反映させて発展させる 学校評価「教育活動の問題意識を気軽に話し合える職場環境」達成度 70% エ 次年度教職員体制での登用	

<p>学園一本化に向けた対応</p> <p>一体感のある機動的でフレキシブルな組織づくりと</p>	<p>(1)校務分掌組織の見直しと改革</p> <p>ア 若手・中堅の活性化とアイデア等の具体的な成果を反映</p> <p>イ オンラインを活用した業務の見直し</p> <p>(2)ミドルリーダーの権限と責任意識をもとにしたプロジェクトチームによる学校課題の解決</p> <p>ウ プロジェクトチームの充実</p> <p>エ 組織における役割の明確化</p> <p>オ 技能連携校の EdTech の推進と教育圏域の拡大</p>	<p>(2)</p> <p>ア プロジェクトの学校課題等への対応案について具体性のあるものについて若手・中堅をリーダーとしてチームで実行する。</p> <p>イ オンライン活用による業務の効率化を図る。</p> <p>(3)</p> <p>ウ G Suite 検証委員会による事業の実施。また、関係室プロジェクトチームの連携、分担整理を行い EdTech を具体的に進める。</p> <p>エ 指導の充実を図るための分掌組織の業務の徹底的な見直しを図り新たな発想で改革する。</p> <p>オ G Suite 等を活用した技能連携校におけるオンライン授業や教育相談を充実させるとともに教育圏域拡大の際にも活用する。</p>	<p>(2)</p> <p>ア 企画提示の上実際に学校経営に企画数の6割以上反映</p> <p>イ 各分掌の活用度と業務内容の整理表</p> <p>(3)</p> <p>ウ G Suite、ZOOM 等を活用できる教員80%以上</p> <p>エ 学校評価「自分の役割の認識」「相手の意見の尊重」達成度60%以上。受講登録システムの試行活用</p> <p>オ 技能連携校主事会等での EdTech 活用事例の意見交換と今後の方針確認</p>	
<p>EdTech を活用し全国展開する学校づくりと学園の一本化による「向陽台ロマン」の実現を図る</p>	<p>(1)危機意識の共有と学校の特色づくり</p> <p>ア 新たな生徒層の獲得に向けた EdTech を活用した学習者主体のモデルカリキュラム作成</p> <p>イ 「22世紀の教育への挑戦」を視野に新たな通信制教育の検討</p> <p>ウ 関係機関と連携した特色ある講座の開講</p> <p>(2)学園の一本化を目指した取り組みの推進</p> <p>エ G Suite の活用を充実発展させるとともに学園 LMS との連携を検討</p> <p>オ 教務システムでの EdTech の活用推進と特色ある指導の意義とまとめ</p>	<p>(1)</p> <p>ア コース検討チームによるコース案の提示とプロジェクトによるモデルカリキュラム案の提示</p> <p>イ 未来の教室や研究開発校への応募を検討</p> <p>ウ キャリア教育の視点での関係機関との積極的な連携を推進</p> <p>(2)</p> <p>エ 組織的計画的に G Suite 登録の推進と授業での活用を進める。</p> <p>オ 教務システムの計画的な試行実施を行い、次年度からの移行を実現する</p>	<p>(1)</p> <p>ア 主体的学習を目指したモデルカリキュラム案の作成</p> <p>イ 職員会議等での新たな通信制等の資料提示・研究報告の実施</p> <p>ウ 学校設定教科に位置付けた特色ある講座の開講 5 講座</p> <p>(2)</p> <p>エ G Suite 登録生徒数 1500 名、授業等活用実績 8 割</p> <p>オ 1 月試行実施によるインターネットによる受講登録を行う。4 月より完全実施。</p>	
<p>多様なニーズに応じた教育の EdTech を徹底活用した「学びを止めない教育」に基づく展開を図り、学園教育クラウドプラットフォームを充実させ「未来の教室」を目指し「学校力量」を高める</p>	<p>(1)ICT 活用による授業実践力向上</p> <p>ア オンライン授業や指導方法検討</p> <p>イ 双方向アプリの実践</p> <p>ウ 学校クラウドの検討</p> <p>(2)キャリア形成・就労支援の指導力</p> <p>エ 各コースの内容と特徴の明確化と難関大学も含めた進学コースでの実践とキャリア教育モデルカリキュラムの検討</p> <p>オ オンラインを活用した相談の推進</p> <p>(3)コミュニケーション力の向上とカウンセリングマインドの育成</p> <p>カ 特色のある講座と G Suite・zoom 等を活用したオンラインによる指導の工夫</p>	<p>(1)</p> <p>ア EdTech を活かした教育の実践、工夫と早稲田摂陵の実践での比較検討</p> <p>イ 各教科での双方向アプリの試行実施。アプリでの工夫、課題等の整理授業。教育相談やホームルームでの活用の検討</p> <p>ウ 学校クラウド案の検討</p> <p>(2)</p> <p>エ 進学に向けた指導内容の整理と民間事業所と連携した向陽台の進学指導内容の検討と早稲田摂陵の指導との連携の模索</p> <p>オ SNS を活用した教育相談・進路相談の実施</p> <p>(3)</p> <p>カ 社会スキル等の講座の開設とオンラインでのカウンセリング講座の実施</p>	<p>(1)</p> <p>ア 向陽台のノウハウのまとめと早稲田摂陵の実施上の課題の整理と共有</p> <p>イ 学校評価「視聴覚機器等の積極的活用」満足度 70%以上</p> <p>イ 実践事例のまとめ</p> <p>ウ 学校評価「わかる授業を目指し」達成度 90%</p> <p>ウ 学園クラウドの実施決定</p> <p>(2)</p> <p>エ 向陽台と早稲田摂陵の指導内容の比較検討結果の共有</p> <p>オ 教育相談の実施状況 20 ケース以上</p> <p>(3)</p> <p>カ 講座の実施と評価</p>	

<p>「向陽台コンソーシアム」の発想に基づき関係機関等と連携したキャリア教育を充実させ、特色ある教育の充実と発信</p>	<p>(1)ホームページの充実と Web 活用による発信 ア 松阪市向陽台総合学院の地域 一 地域循環還元型教育の指導内容協議と生徒募集 イ インクルーシブ教育の推進 (2)向陽台総合学院でのEdTechの計画立案 ウ 松阪市との協議と EdTech 活用イメージの共有 エ 関係事業等の連携 (3)連携事業の推進 オ e - スポーツ関連事業との連携と教育圏域の拡大</p>	<p>(1) ア 令和3年4月開校に向け、令和2年8月審議会後10月以降での生徒募集 イ ユネスコスクールの検討と中学校段階の不登校生徒への意欲づくりの検討 (2) ウ 松阪市との協力事業として推進。地域講座の開催 エ 関西カウンセリングセンターと連携し、相談事業の実施 (3) オ 次の時代に対応する事業所との連携並びに生徒のニーズに対応した特別講座の開設</p>	<p>(1) ア 設置委員会による準備・学校体制確立と向陽台総合学院開校 イ ユネスコスクールの申請と市教委等との意見交換会の実施 (2) ウ 地域講座の開設2回実施。生徒募集の定員充足5割以上 エ 教育相談での松阪市での評価。 (3) オ 連携事業所を3か所以上増。本校で5講座開設</p>	
--	--	--	---	--